





□□ \_\_\_\_\_ □□

1. トピックス …第24回文化賞の応募数700点を超える  
昨年を大幅に超え9年ぶりに700の大台に

□□ \_\_\_\_\_ □□

第24回日本自費出版文化賞の応募・入金済み（3/31現在）が719点、  
となり、前年の603点を大幅に上回りました。700の大台は9年ぶりです。  
まだ応募していない会員の方は4/10まで待ちますので至急の応募を  
お願いいたします。

□□ \_\_\_\_\_ □□

2. お知らせ …岐阜全国大会（5/14）実施の可否を4月初旬に決定

□□ \_\_\_\_\_ □□

5月14日に予定されている岐阜全国大会の可否を、4月上旬の役員投票  
で決めます。  
決まり次第、皆さんに報告いたします。

□□ \_\_\_\_\_ □□

3. お知らせ …新2級試験受験者は早めの指定テキスト精読を

□□ \_\_\_\_\_ □□

今年からNP0認定自費出版アドバイザー制度が、1級と2級の2段階の  
認定となります。  
2級問題は日本エディタースクール発行の指定テキストを読めば解答  
できるようになっていますが、しっかり精読をしないと答えられません。  
受験予定の方は早めに購入して精読をお勧めします。

受験の詳細は<https://www.jsjapan.net/pages/adviser> まで。

□□ \_\_\_\_\_ □□

4. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.40

□□ \_\_\_\_\_ □□

株式会社文伸  
代表取締役社長 川井信良

大きな看板

今から40年前、吉祥寺の外れにあった12坪足らずの古い店舗を購入した。  
苦労を重ねたうえでの初めての自社物件だけに当時の社長ともども喜び、  
店の前に「自費出版の文伸」と書かれた大きな看板を掲げた。（写真添付）  
自費出版事業のスタートである。

ある日、50歳ほどの品の良い夫人から自費出版の依頼があった。聞くと、知人に業者を探してもらい、その知人の推薦によりお願いすることになったとのこと。大きな看板の効き目があったようだ。

夫人は20年前に妹を白血病で亡くし、残された日記や手紙や絵などをまとめて一冊の本にするのが夢であったが、「ようやく幾分のゆとりを得て念願の妹の本を編むことが叶いました」とまえがき原稿に記していた。

しかし、依頼者の強い思いと多岐にわたる原稿は、経験不足の30歳には荷が重かった。大きな看板は誇大広告に思えた。結局、四六判592頁の上製本はスタッフに助けられながらなんとか完成したが、私はアドバイザーにはなれなかった。お客様の本づくりにしっかりと応えられなかった自分を恥じた。今でも振り返ることがあるが、その頃の品行の酷さも一緒に思い出し、いまだに強い苦味を味わっている。

□□ \_\_\_\_\_ □□

☆ 知っとこ 愛知 ☆ その11

□□ \_\_\_\_\_ □□

知っとこ愛知

伊勢物語（かきつばた）

から衣 きつつなれにし つましあれば はるばるきぬる 旅をしぞ思ふ  
（『伊勢物語』東下り第9段）

高校古文の授業で習うこの和歌は、折句として「かきつばた」が詠み込まれ、尾形光琳の「燕子花図（根津美術館所蔵）」のモチーフとして有名ですが、その“現場”は愛知県知立市八橋町だとされています。

「伊勢物語」は作者未詳。主人公「男」のモデルとされる在原業平にも東下りをした史実はありませんが、現在でもカキツバタの咲き誇る名所として由縁共々愛され、愛知県/知立市の花にもなっています。

しかし「京（故郷）から離れ、こんなに遠くまで……という嘆き」の歌。交通も通信も発達していない平安当時のことでも、地元民としては少々複雑？けれど、落ち込み絶望しても美しいものに目を向ける気持ちを無くさないこと。自分の気持ちを言葉にして表現し、伝えること。その結果として現代まで続く“物語”の力を感じます。花の見頃は5月上旬、今年も美しいことでしょう。

株式会社マルワ 服部 美紗子

\*\*\*\*\*

★あとかぎ

巣ごもり需要の恩恵でしょうか、文化賞の出品数は昨年を大きく上回りましたね。これは嬉しい事態ですが、2回目の緊急事態宣言は解除され、場所によっては感染拡大の兆しもあって、岐阜大会の判断も難しい事態になっています。

そして、今回の会員便りは、我らが代表にご登場いただきました。

短い文章にギュッと想いが込められていますが、そんな時もあったんだと、共感してしまいました。私も営業に出始めた頃、分からないことだらけ…お客さまに育ててもらった記憶がよみがえりました。

「知っとこ愛知」は佳境です。かきつばたの見頃はもう少し先、今は桜、そして春爛漫の季節がやってきます。浮かれたいところですが、ここはもう一度気持ちを引き締めて感染対策をしながら来たる季節を楽しみましょう。

最後までお読みくださりありがとうございました。

---

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら [yumi@maruwanet.co.jp](mailto:yumi@maruwanet.co.jp) まで、お願いいたします。